

6. 高千穂町の現状



子育て応援「ゆい高千穂」事業
がまだせ若竹会議 生活リズム部会



いってきまーす 毎朝早起き 笑顔でGO

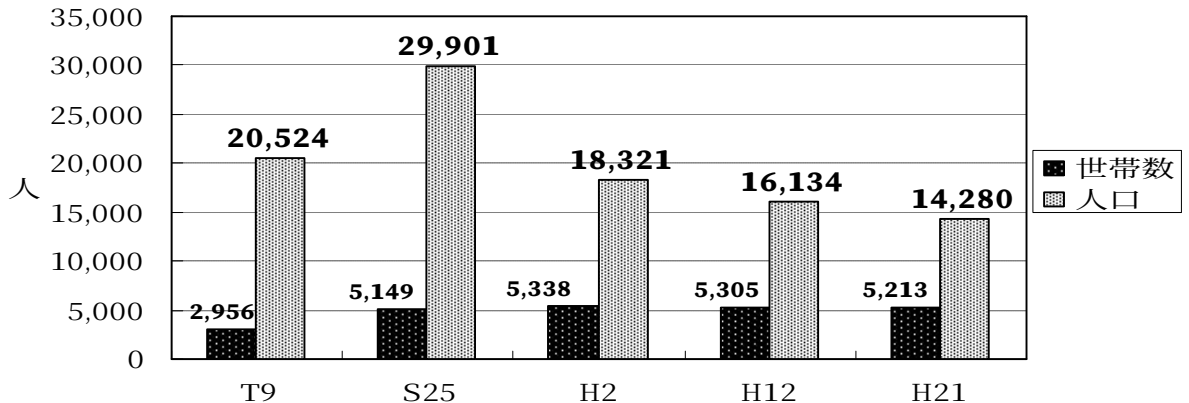
平成 23 年度 生活リズム川柳

岩戸中学校2年 工藤 千絵美

6 高千穂町の現状

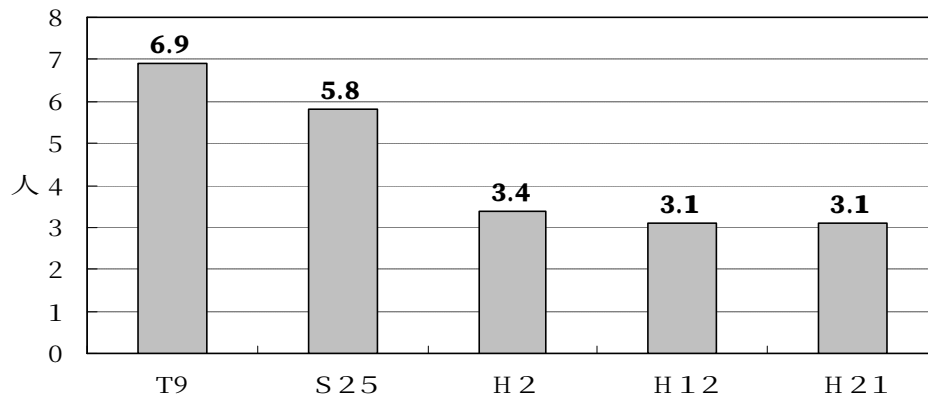
(1) 人口動態

【 人口・世帯数の推移 】



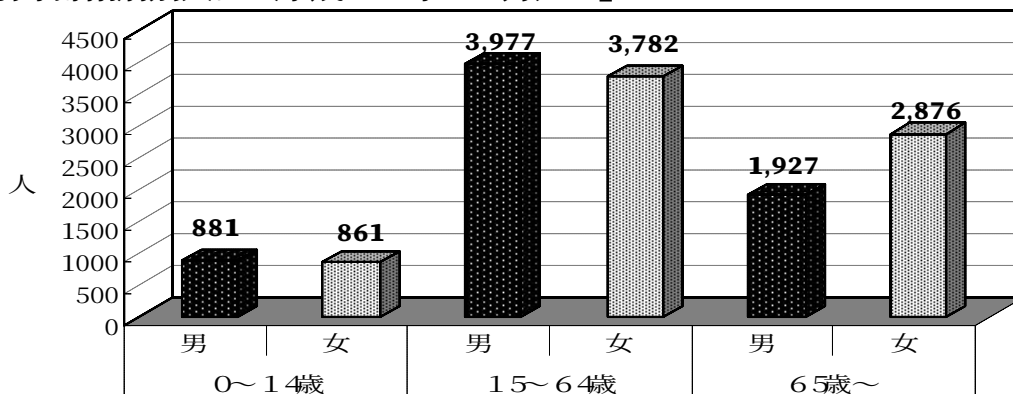
- 世帯数は、昭和 25 年より横ばいですが、人口は昭和 25 年をピークに年々減少しており、ここ 10 年で 1,854 人の減少となっています。
- 平成 47 年（2035 年）の本町の予測人口は 8,781 人となっており、今後ますます人口減少が続くと見込まれます。

【 平均世帯人員の推移 】



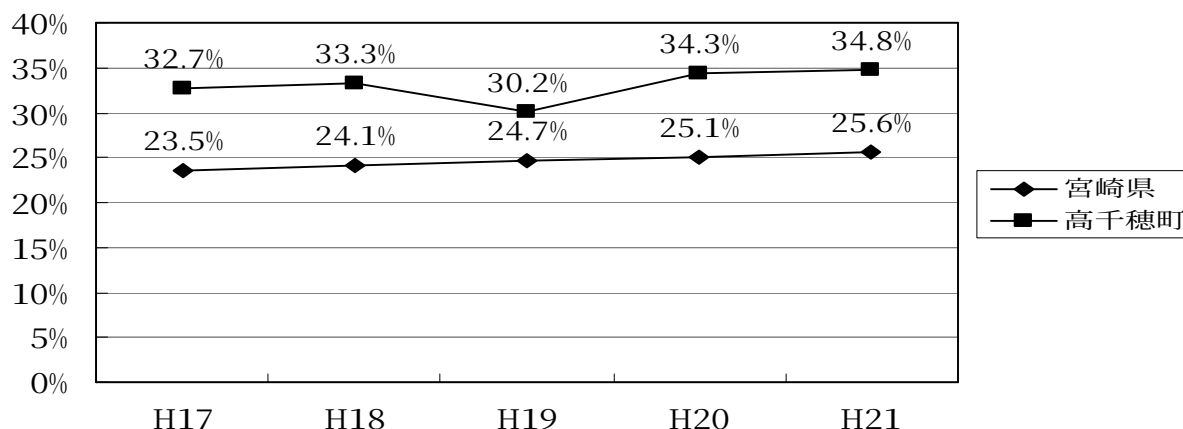
- 平均世帯人員は、平成 2 年には 3 人台に突入し平成 12 年より横ばいです。

【 性別年齢階層別人口（平成 21 年 10 月） 】



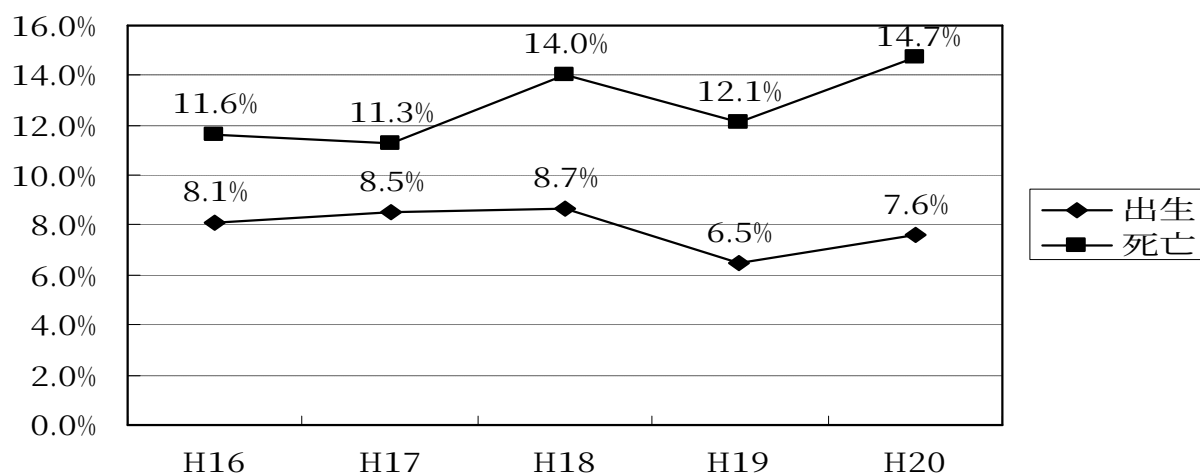
- 0～14 歳の年少人口が少なく、今後も高齢化率が高くなることが考えられます。
- 65 歳以上は男性に比べ女性が 1.5 倍と多く、女性の高齢者が多いのが現状です。

【 高齢化比率の推移 】



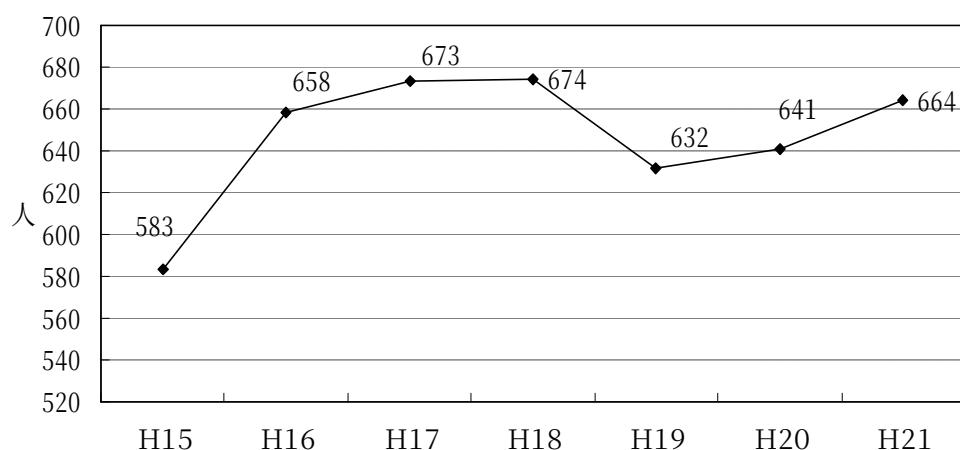
- 平成 19 年は下がったものの県平均と同じような上昇傾向にあります。

【 出生率と死亡率の推移 】



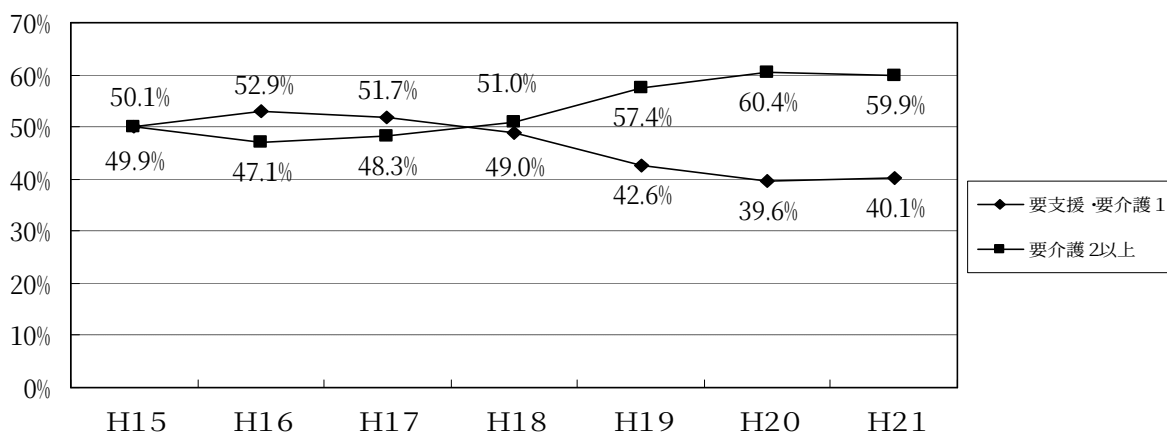
- 死亡率・出生率共に横ばい状態から平成 18 年に死亡率は上昇し、平成 19 年には死亡率・出生率共に減少、平成 20 年は上昇傾向にあります。

【 介護保険認定者数の推移 】



- 介護保険認定者はおおよそ 650 人前後で推移しています。平成 19 年に一度減少しましたが、また増加傾向にあります。今後も高齢化率の上昇に伴い、認定者数も増加すると考えられます。

【 要支援・要介護者の推移 】



- 平成 17 年までは介護度の軽い要支援・要介護 1 の割合がやや高めですが、平成 18 年度以降はより介護が必要となる要介護 2 以上の割合が年々増えてきています。

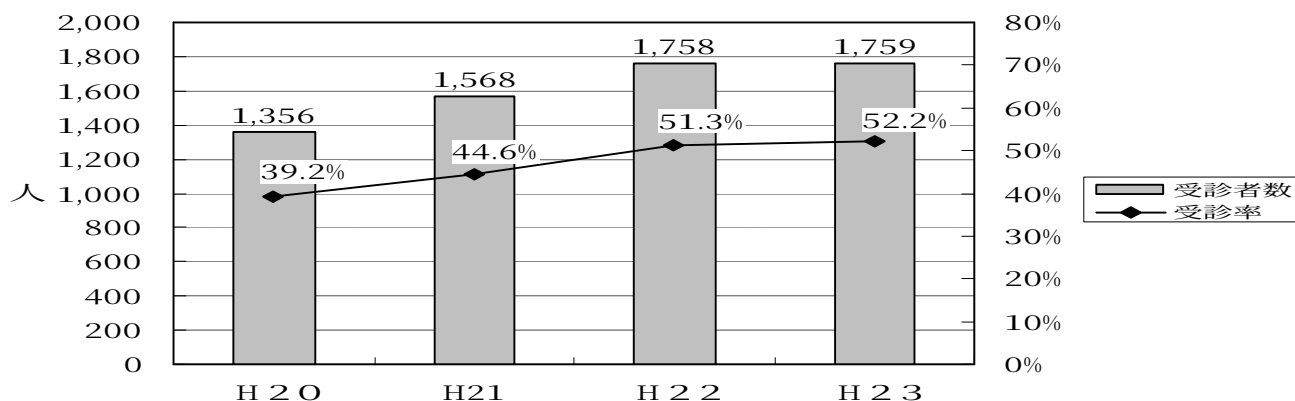
【 主要死因分類死亡数の推移 】

順位/年度	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20
1 位	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	53人	45人	37人	41人	56人
2 位	心疾患	脳血管疾患	心疾患	脳血管疾患	心疾患
	27人	30人	35人	26人	31人
3 位	肺炎	肺炎	脳血管疾患	心疾患	肺炎
	18人	17人	31人	16人	24人
4 位	脳血管疾患	不慮の事故	肺炎	肺炎	脳血管疾患
	14人	15人	23人	13人	18人
5 位	不慮の事故	心疾患	不慮の事故	自殺	不慮の事故
	12人	13人	10人	9人	12人

- 主要死因では、どの年も悪性新生物が 1 位、ついで循環器系疾患の心疾患か脳血管疾患となっています。

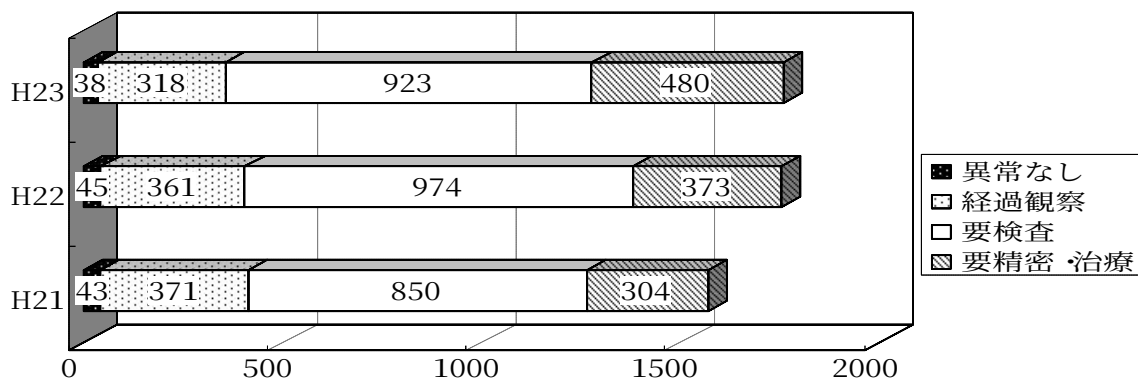
(2) 特定健診

【 特定健診受診の推移 】



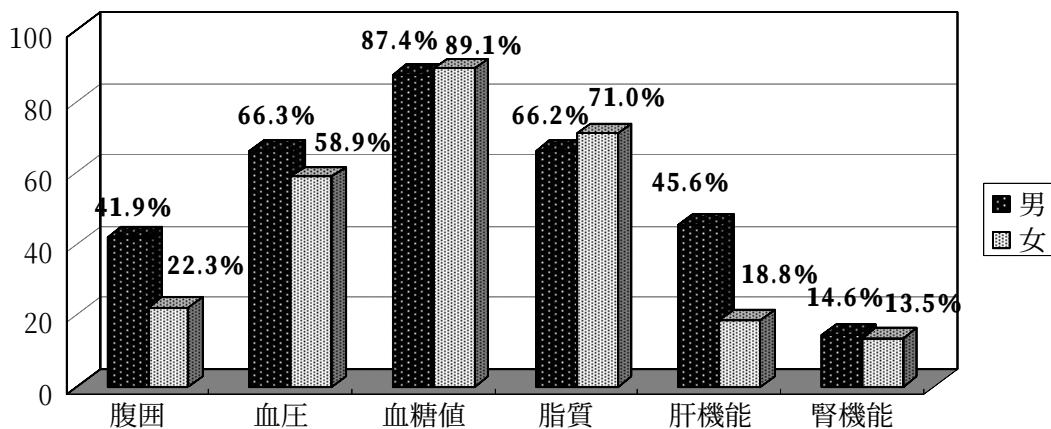
- 総合がん検診との同時実施やもれ健診の実施、未受診者への個別勧奨を行い受診率は上昇しつつありますが、平成 22・23 年度は横ばいでした。

【 特定健診結果の判定区分割合 】



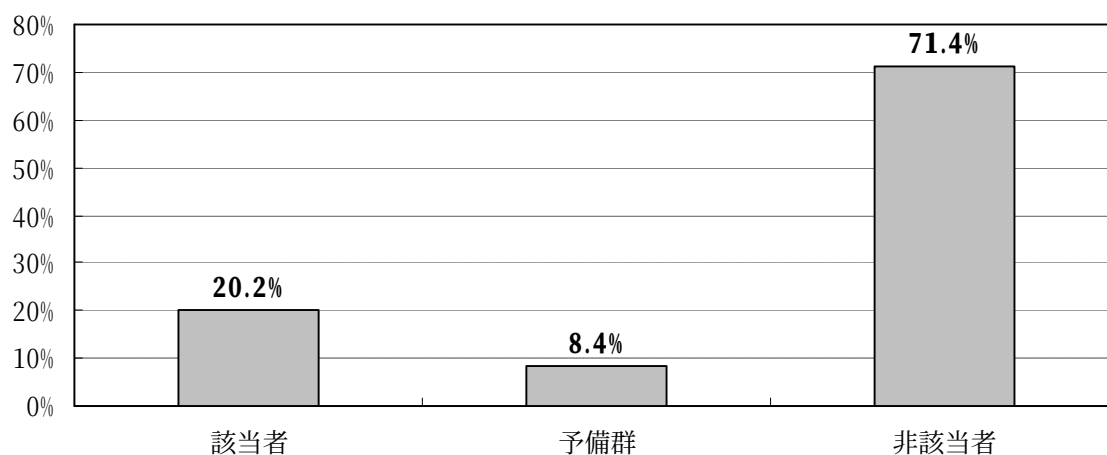
- 健診の結果は、「異常なし」はわずかで「要検査」者が最も多く、「要精密・治療」者も年々増えています。

【 平成 23 年度特定健診の結果異常があった人の割合（疾病別） 】



- 特定健診の結果、血糖値に異常のある人の割合は 8 割以上と非常に高い割合でした。

【 平成 23 年度特定健診の結果、メタボリックシンドロームと判定された人の割合 】



- メタボリックシンドロームと判定された人は 20.2%、メタボリックシンドロームの予備群と判定された人は 8.4%でした。

- メタボリックシンドロームの判定基準：

< 選択項目 >

< 必須項目 >

① 腹囲：男性)85cm 以上
女性)90cm 以上

② 脂質代謝異常：中性脂肪)150mg/dL 以上
かつ/または
HDL コレステロール)40mg/dL 未満

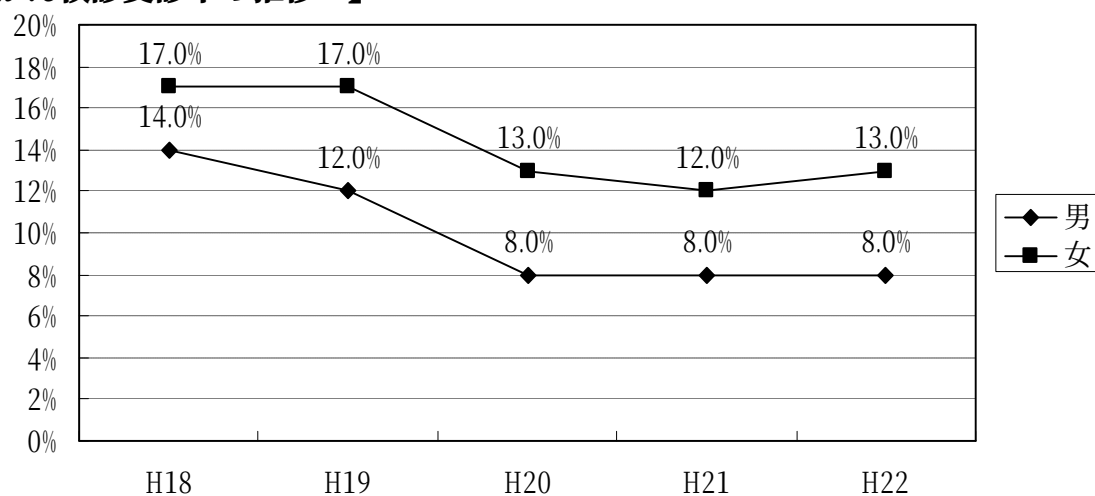
③ 血圧高値：収縮期血圧)130mmHg 以上
かつ/または
拡張期血圧)85mmHg 以上

④ 糖代謝：空腹時血糖値)110mg/dL以上
かつ/または
ヘモグロビンA1c)5.5%以上

- ・ メタボリックシンドローム基準該当者：必須項目である①に該当し、また選択項目の②～④のうち2つ以上該当する人
- ・ メタボリックシンドローム予備群：必須項目である①に該当し、また選択項目の②～④のうち1つ該当する人

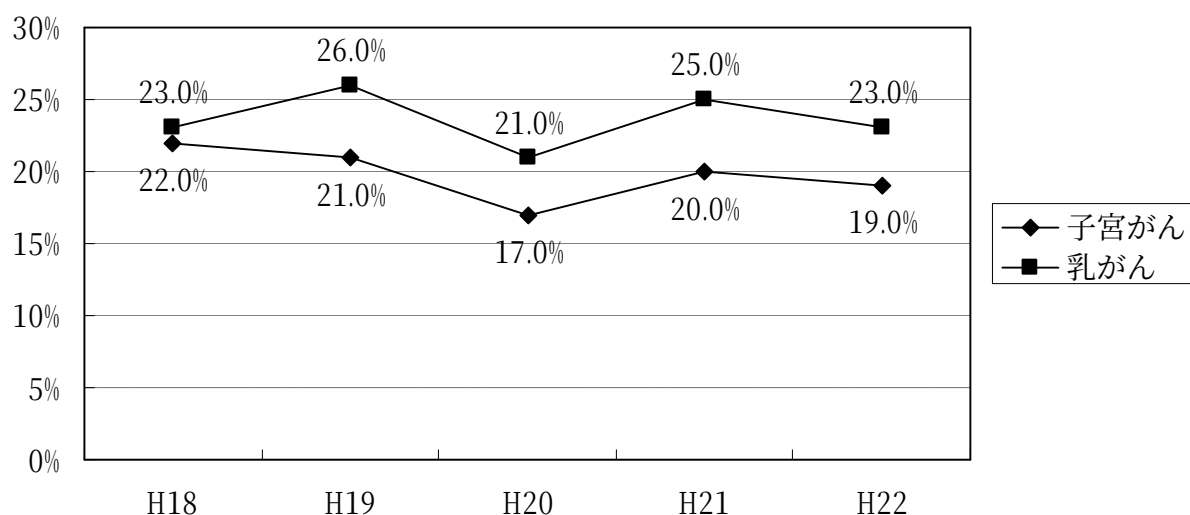
(3) がん検診

【 胃がん検診受診率の推移 】



- 胃がん検診はどの年度でも男性が女性に比べ受診率が低く、また平成 20 年度以降男女共に受診率が減少してきています。がん検診の中でも、胃がん検診が最も受診率が低くなっています。

【 子宮がん・乳がん検診受診率の推移 】



- 平成 20 年度に子宮・乳がん共に受診率が下がりましたが、平成 21 年度から無料クーポン券が導入され、受診率がやや上がりました。しかし平成 22 年度は受診率が下がるなど各年度で受診率に増減がみられています。

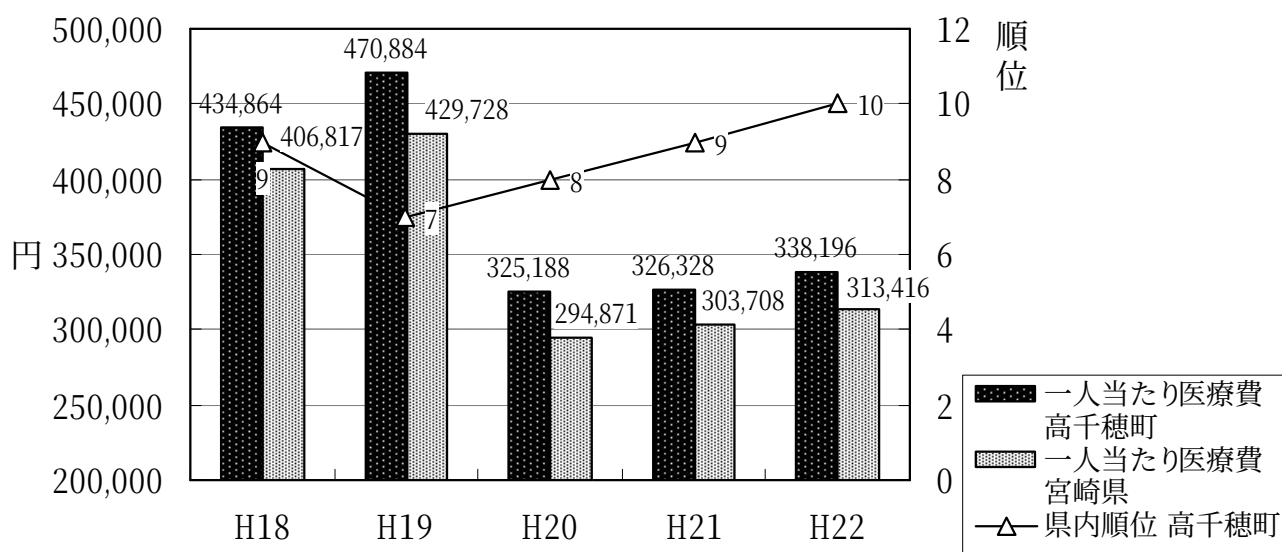
(4) 医療費の動向

【 国民健康保険被保険者の推移 】

年 度	H 3	H 1 0	H 1 6	H 2 0	H 2 1	H 2 2
加入割合 (%)	49.2%	43.4%	48.2%	33.8%	33.3%	32.6%

- 平成 22 年度から後期高齢者医療制度が開始されています。
- 高齢人口の増加に伴い年々減少傾向にあります。

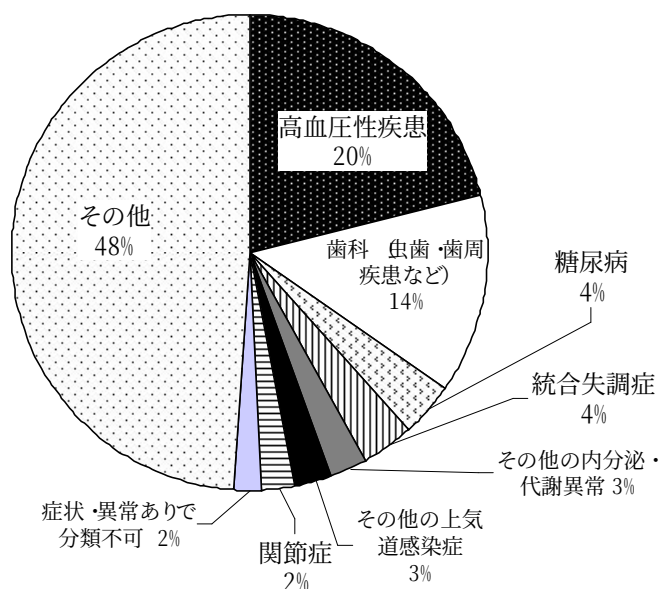
【 1人当たりの医療費の推移 】



- 高千穂町の一人当たりの医療費は県平均より高く平成 22 年度は県内で 10 位です。

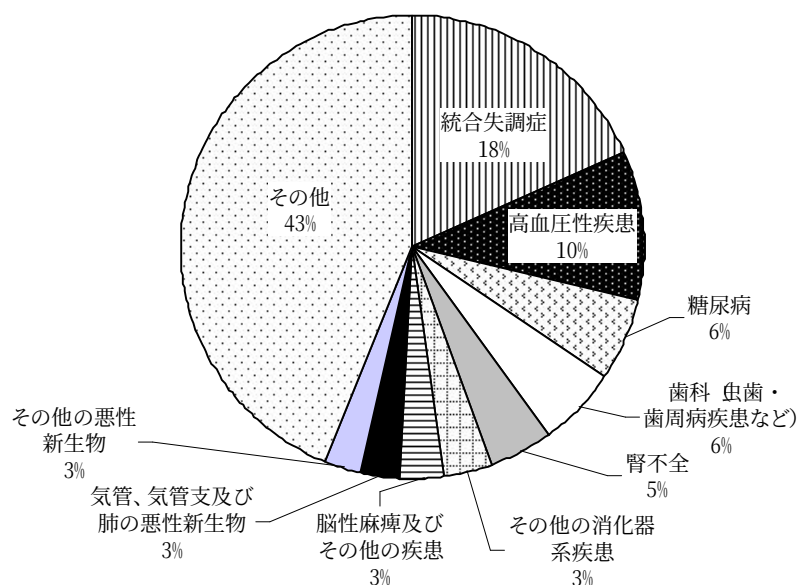
【 疾病別受診状況 (平成 23 年 5 月分診療) 】

< 件 数 >



- 受診件数では、高血圧性疾患に次いで歯科の件数の割合が高くなっています。また、高血圧性疾患・糖尿病などの生活習慣病の占める割合が全体の 4 分の 1 と高くなっています。

< 費 用 額 >



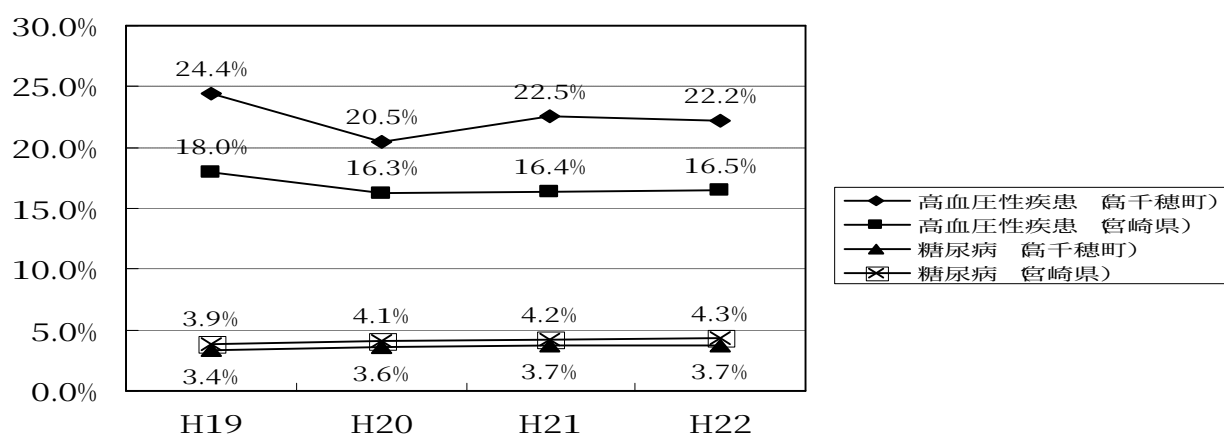
- 受診費用額では統合失調症が一番高くなっています。次いで高血圧性疾患、糖尿病となっています。統合失調症は受診件数に比べ割合が高くなっています。

【 外来疾病別受診状況 】

件数順位	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
H19.5	高血圧性疾患	歯科（虫歯・歯周疾患など）	糖尿病	関節症	胃潰瘍及び十二指腸炎
H20.5	高血圧性疾患	歯科（虫歯・歯周疾患など）	糖尿病	統合失調症	その他の内分泌・代謝異常
H21.5	高血圧性疾患	歯科（虫歯・歯周疾患など）	糖尿病	統合失調症	その他の内分泌・代謝異常
H22.5	高血圧性疾患	歯科（虫歯・歯周疾患など）	統合失調症	糖尿病	その他の内分泌・代謝異常
H23.5	高血圧性疾患	歯科（虫歯・歯周疾患など）	糖尿病	統合失調症	その他の内分泌・代謝異常

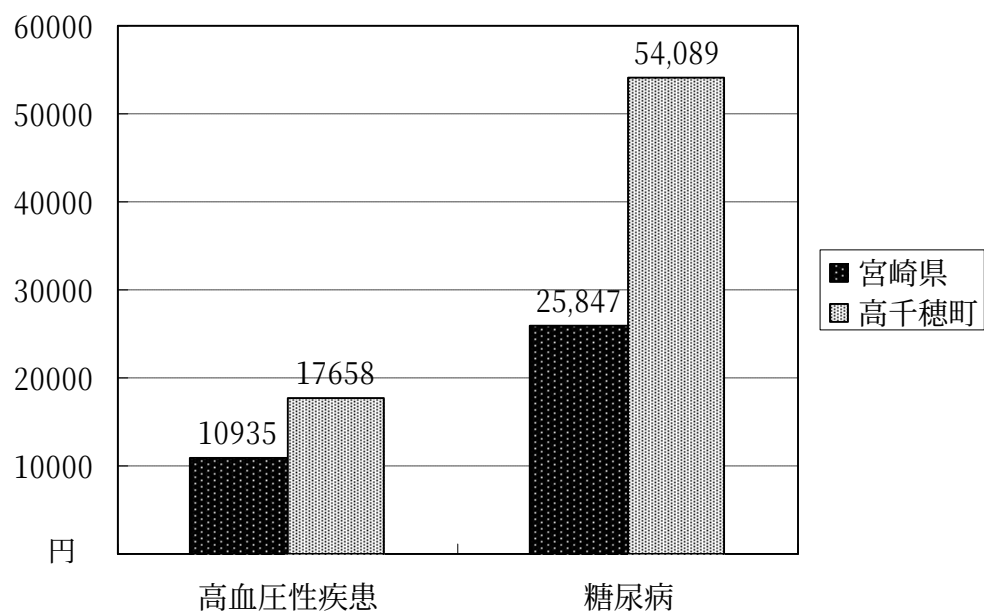
- 外来の受診者は高血圧性疾患が一番多く、次いで歯科、糖尿病が3位もしくは4位となっており、生活習慣病での受診が多いことがわかります。

【 外来受診率（高血圧性疾患・糖尿病） 】



- 高血圧性疾患の外来受診率は、県平均の約1.3倍と高くなっています。
- 糖尿病は県平均よりわずかに低いです。しかし、特定健診の結果、血糖値で異常のある人の割合は8割以上と高くなっています。

【 高血圧性疾患・糖尿病患者の1人当たりにかかる医療費(平成23年5月分診療) 】



- 高血圧性疾患・糖尿病ともにかかる医療費が県平均より高くなっています。
- 糖尿病の受診率は県平均に比べわずかに低いにもかかわらず、医療費は 2.1 倍と高くなっています。

